

2017年10月27日

一般社団法人日本化学工業協会

<報道関係各位>

日本動物実験代替法学会 第2回 日化協 LRI 賞 受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:石飛 修(住友化学㈱代表取締役会長)、以下「日化協」)は、研究者奨励(育成)の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた業績をあげた研究者を表彰するため、日本動物実験代替法学会(JSAAE 会長:酒井康行)内に設立した日化協 LRI^{※1}賞の第2回目の受賞者を正式に決定いたしました。

※1 Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動



[受賞者] 藤堂 浩明(とうどう ひろあき)

城西大学 薬学部 薬粧品動態制御学研究室 准教授

[テーマ] Utilization of Reconstructed Cultured Human Skin models as an Alternative Skin for Permeation Studies of Chemical Compounds
(化学物質の皮膚透過試験における代替皮膚としての再構成培養ヒト皮膚モデルの利用に関する研究)

[受賞理由] (主に以下2点の業績が評価されました。)

- ① ヒトおよび動物皮膚の代替膜である3次元培養ヒト皮膚モデルや人工膜モデルを用い、これら代替膜を用いた皮膚適用剤の評価法について研究、その結果および手法を広く共有化するために、様々な関連学会にて公表してきている。各種代替膜の特徴を科学的に比較検討した結果を示している研究は他になく、多くの研究者がこの報告結果をもとに試験を実施している。
- ② 開発した *in silico* モデルは、*in vitro* 経皮吸収試験(*in vitro* 皮膚透過試験)を化粧品・医薬部外品の安全性評価に資するためのガイダンスの附則に掲載されており、多くの研究者が利用できるようになっている。過去に皮膚中濃度を簡便に算出可能な *in silico* モデルは報告されておらず、非常にインパクトがある報告だと考えられる。

なお、授賞式は、11月24日に東京都大田区産業プラザ(Pio)で開催する日本動物実験代替法学会第30回大会にて執り行われます。

LRIは、国際化学工業協会協議会(ICCA)に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援している自主活動です。日化協では2000年よりLRIを通じた研究支援を行っています。「日化協 LRI賞」は、LRIの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して設立いたしました。JSAAEならびに日化協LRIホームページで公募を行い、JSAAE内学術委員会にて厳正なる審査を経て、日化協LRI賞へ推薦された候補者を日化協が正式に承認し受賞者が決定します。

以上

<<本件に関するお問い合わせ先>>

一般の方から:	(一社) 日本化学工業協会	LRI 事務局	田所	TEL:03-3297-2575
報道関係者から:	(一社) 日本化学工業協会	広報部	永井	TEL:03-3297-2555